

1 事業属性

(単位：千円)

事業名	国際交流事業							事業コード	020110130116		
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち					政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造			
	施策名	3 多文化共生とユニバーサル社会の推進						施策コード	313		
事業担当	所属	020300 市民生活部まちづくり推進課					所属長	片岡 まり子			
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	10 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算附属資料	81	頁
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	－			R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	－										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()										
関連事業	－										

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・近年、福知山市における外国人数は増加しており、今後も増加していくと考えられる。 ・社会が変化していく中で、互いの文化的ちがいを認め、尊重し合いながら暮らすことができるまちづくりを進めることが必要である。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・事業所や市役所窓口において、外国籍市民に対する対応や手続きが十分でない。 ・多文化共生に関する意識が市民に十分に醸成されていない。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づきまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 外国籍市民と日本国籍市民が相互理解を深めながら、お互いに快適に暮らすことができる「誰にでも優しい国際化」、市民が自ら地球的視野に立って考え、行動することができる「市民参加の国際化」を図り、誰もが幸せを感じることができる多文化共生社会の実現をめざす。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・国際交流イベント(講座、セミナー、交流会) ・やさしい日本語研修会 ・日本語支援ボランティア研修会 ・国際交流ボランティア活動の運営					
対象者	市民	対象者数	74,000	単位あたりコスト	0.1	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()					
委託先・実施主体等	(非特)京都丹波・丹後ネットワーク					
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	報償費	129	日本語支援ボランティア養成講座講師謝礼			
	旅費	46	日本語支援ボランティア養成講座講師旅費			
	役務費	1	郵送料			
	委託料	1,705	提案型公共サービス民営化制度			

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	1,731		1,941		1,858		0	
	② 補正予算	0		0		0		0	
	③ 繰越予算	0		0		0		0	
	前年度繰越	0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0			
小計(①～③)		1,731		1,941		1,858		0	
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		1,793		0	
	② 国支出金	0		0		0		0	
	③ 府支出金	0		95		65		0	
	④ 地方債	0		0		0		0	
	⑤ その他特財	1,731		1,846		0		0	
決算情報	① 流充用額	△ 10		0					
	② 配当予算	1,721		1,941					
	③ 執行額	1,720		1,880					
	④ 執行率	99.9%		96.9%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.35 / 0.00		0.35 / 0.00		/		/	
	② 概算人件費	2,800		2,800					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,520		4,680					

主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	京都府地域日本語教育推進事業費補助金	種類	総務費府補助金	実績金額	80	決算附属資料	22	頁
		国際交流事業基金繰入(地域振興基金)		基金繰入金		1,799		37	
				1					

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	人		38	160	169			
国際交流イベント及び各研修会への参加者数		目標値		200	200	200	200	200		
		達成度		%	19%	80%	85%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	回		3	10	12			
国際交流イベント及び各研修会の実施回数		当初見込		3	10	10	10	10		
活動内容① (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
		広報カードや市LINEで広報をする。 市内日本語教室、外国人受入事業所、NPO団体等と連携し、事業を周知する。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績								
		目標値								
		達成度		%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績								
		当初見込								
活動内容② (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	- 全国的に外国人数は増加しており、本市においても外国人数は5年で約500人増加し、現在は1500人を超えている。 - 令和5年度から提案型公共サービス民営化制度により、NPO団体に国際交流イベントの企画・運営を委託し、内容や事業回数の拡充を図った。 - 国際交流イベント及び各研修会への参加者数はここ2年増加傾向にあるが、単発の参加者が多く、多文化共生に関する意識が十分に醸成されたとは言えない。 - 本事業を通じて、多文化共生の重要性を理解し継続的に取組へ参画する市民をさらに増やし、多文化共生社会を実現することが必要である。	
現状の課題 に対する 改善策		
	- 多文化共生の意識醸成に向け、外国人住民とともにつくる研修や交流会を実施していく。 - 生活上の困り事が言葉の壁により解決しづらい外国人住民の支援のため、日本語支援ボランティアの育成や「やさしい日本語」の周知をしていく。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	オレンジのまちづくり推進事業										事業コード	030101440121				
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造							
	施 策 名	3 多文化共生とユニバーサル社会の推進								施策コード	313					
事業担当	所属	150200 健康福祉部社会福祉課						所属長	高山 明子							
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	01 社会福祉総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	106		頁
計画期間	開始年度	令和元年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	第4次福知山市地域福祉計画				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	社会福祉法															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 近年急速な人口減少や少子高齢化、過疎化が進行する中、地域社会や家庭を取り巻く環境は大きく変化している。このような中、住み慣れた地域で、共に「幸せを生きる」ためには制度や分野を超えた取組を進めていく必要があり、行政だけでなく住民一人一人が福祉について考え共生していける地域づくりを進めていくため、オレンジ色をテーマとした福祉のまちづくりを進めている。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 令和元年度からオレンジのまちづくりの取組みを行ってきたが、図書館での啓発展示や、啓発映画の上映に留まっており今後においては、住民・企業・ボランティア、当事者、行政などの協働によるオレンジのまちづくりを進めていく必要がある。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 地域の誰もが認知症の人や障害のある人、その家族、子育て家庭等が抱える様々な大変さに寄り添い、疾患や障害を正しく理解して、必要な時に手を差し伸べることが出来る優しいまち、地域共生社会を目指した取組みを進める。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・分野を横断した見守り、支え合いの取組や啓発を進める。 ・当事者・家族の会の声を反映した事業展開を図り、生の声を市民に届け、当事者団体や家族の会と連携して啓発を行う。 ・オレンジのまちづくり啓発イベントの開催					
対象者	全市民	対象者数	75,141	単位あたりコスト	0.1	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	571		395		385		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		571		395		385		0						
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	571		395		385		0						
決算情報	① 流充用額	△ 318		△ 37										
	② 配当予算	253		358										
	③ 執行額	220		350										
	④ 執行率	87.0%		97.8%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.28	/	0.00	0.46	/	0.00			/				
	② 概算人件費	2,240		3,680										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,460		4,030										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	オレンジのまちづくり推進事業基金繰入(地域福祉基金)		種類	基金繰入金		実績金額	349		決算附属資料	36		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	－	27.7	36.5			
	イベント後アンケート(オレンジ運動を「参加したい」「広めたい」と回答された割合)	目標値		－	50	50	50	50	
			達成度	%	#VALUE!	55%	73%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	－	178	68			
	オレンジフォーラム(推進イベント)参加者数	当初見込		－	300	300	300	300	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	オレンジのまちづくり推進イベントを市民向けに、児童福祉・高齢者福祉・障害者福祉のテーマで行う。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	オレンジのまちづくり事業として実施している展示や映画上映は庁内の関係部署のみの関わりに留まっている。重層的支援体制の取組みを通して、行政の枠を超えた幅広いネットワークによる見守り支援の必要性が見えてきていることから、つながりを深めるために多様な主体が協働で取り組むイベントを開催するなどして、誰もが安心して暮らすことができる地域共生のまちづくりの理念の啓発が必要である。	
現状の課題 に対する 改善策	・今後、関連する事業に「オレンジのまちづくり」の冠を掲げ、部署横断的な取り組みを見える化する。 ・地域福祉に係る医療・介護・福祉の専門職、多くの市民や企業・団体と行政が繋がり、ネットワークを活かし「誰もが安心して暮らすことができる優しいまち」を広げていく。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	福祉医療費(障害)給付事業										事業コード	030101420311				
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造							
	施 策 名	3 多文化共生とユニバーサル社会の推進								施策コード	313					
事業担当	所属	150400 健康福祉部障害者福祉課						所属長	長沢 恭子							
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	01 社会福祉総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	103		頁
計画期間	開始年度	昭和50年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市障害者計画、第7期障害福祉計画、第3期障害児福祉計画			R7現在の状況		継続中			
根拠法令等	福知山市福祉医療給付事業実施要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・障害のある人は傷病による二次障害が生じやすいなど、医療の持つ重要度が高い。 ・障害のある人は働く場や機会が限定されることから所得が低くなりやすく、医療費負担が家計に与える影響が大きい。 ・中軽度障害のある人の重症化を防ぐことは本人の生活の質の維持に資するだけでなく医療費等の公費負担の抑制という観点からも重要と言える。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 障害のある人が必要な医療を安心して受けられるためには、医療を受ける機会の確保と医療に係る経済的負担軽減が必要である。										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ・重度心身障害児者及び中軽度心身障害児者が必要な医療を受けることができるよう医療費負担の軽減を図り、保健の向上及び福祉の増進に寄与する。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・対象者に福祉医療費(障害)受給者証を発行し、京都府内の医療機関等であれば証の提示により窓口負担が無料(現物給付)とし、その他の場合は福祉医療費の申請により窓口負担を償還払い(現金給付)する。 【対象者】後期高齢者医療の被保険者以外で下記の障害者手帳の所持者(所得要件あり)・身体障害者手帳1・2・3・4級・療育手帳A・B・精神障害者保健福祉手帳1・2級の一部、2・3級 ※下線は市制度 ※複数の手帳を所持している場合府制度の対象となる場合がある(所得要件)・府制度の場合 障害児福祉手当・特別障害者手当の所得制限額を適用・市制度の場合 上記に加え、福祉医療の受給者本人が市町村民税非課税である										
対象者	福祉医療費(障害)受給者証所持者					対象者数	1,680		単位あたりコスト	119.9	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (審査・支払事務の委託)										
委託先・実施主体等	京都府国民健康保険団体連合会										
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容				費目	実績(R6)	主な業務内容		
	需用費	112	福祉医療(障害)受給者証台紙印刷製本費								
	役務費	2,736	事務取扱手数料								
	使用料及び賃借料	62	連続帳票裁断機賃借料								
	扶助費	195,096	福祉医療費								

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予 算 情 報	① 当初予算	190,630		189,606		198,712		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		190,630		189,606		198,712		0						
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	137,983		136,892		145,749		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	52,647		52,714		52,963		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決 算 情 報	① 流充用額	5,310		8,401										
	② 配当予算	195,940		198,007										
	③ 執行額	195,857		198,007										
	④ 執行率	100.0%		100.0%										
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員 / 全計年度任用職員)	0.33	/	0.10	0.42	/	0.01	/						
	② 概算人件費	2,920		3,388										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		198,777		201,395										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	福祉医療助成事業(障)		種 類	民生費府補助金		実績金額	51,453		決算附属資料	23		頁
			障害者福祉サービス等利用支援事業費			民生費府補助金			3,086			23		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—	—	
	必要とする医療の給付を適切に受けることができる 【定性的評価】	目標値	—	—	—	—	—	—	
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	1708	1608	1680			
	障害の程度による制度該当者に対する福祉医療(障害)受給者数(所得制限による停止者含む)			1800	1708	1608	1680	R7年度実績	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	障害の程度による制度該当者に対し、手帳取得時に適切に制度案内を行う。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・マイナ保険証の運用が始まった現在でも福祉医療費受給者証を紙で携帯する必要があることや京都府外の受診では一旦自己負担額が発生するなど、受給者にとって不便が生じている一方で、事業担当者にとっても償還払い(現金給付)に係る事務負担が大きく、医療DXの推進を急ぐ必要がある。
現状の課題 に対する 改善策	
	・医療費助成のオンライン資格確認(PMH)の導入や地方単独医療費等助成事業の現物給付化などの医療DXを推進し、償還払い(現金給付)に係る事務時間を短縮する。 ・現物給付の審査・分析を行い、適切な福祉医療費の給付や事業目的にかなった制度のあり方について検討が必要。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	特別障害者手当等事業										事業コード	030101420312				
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち							政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造						
	施 策 名	3 多文化共生とユニバーサル社会の推進								施策コード	313					
事業担当	所属	150400 健康福祉部障害者福祉課							所属長	長沢 恭子						
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	01 社会福祉総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	103		頁
計画期間	開始年度	昭和39年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市障害者計画、第7期障害福祉計画、第3期障害児福祉計画				R7現在の状況	継続中			
根拠法令等	特別児童扶養手当等の支給に関する法律															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☒ その他 (国府負担金事業)															
関連事業	一															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 国の制度に基づき、在宅で著しく重度の障害を有する特別障害者等に対して、その障害のため必要となる精神的、物質的な特別の負担の軽減の一助として手当を支給している。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 国制度 * 在宅で著しく重度の障害を有する特別障害者等は、その障害のため必要となる精神的、物質的な負担が大きいため、支援が必要。										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 在宅の著しく重度の障害を有する特別障害者等に対して、その障害のため必要となる精神的、物質的な特別の負担の軽減の一助として手当を支給することにより、 重度の障害のある人の福祉の向上を図る。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・対象者に対し、原則として毎年2月、5月、8月、11月にそれぞれの前月分までを国が示す金額を支給 ・対象者:精神又は身体に著しく重度の障害を有するため、日常生活において常時特別の介護を必要とする状態にある在宅の者										
対象者	特別障害者手当、障害児福祉手当及び経過的福祉手当受給者					対象者数	149		単位あたりコスト	234.1	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (国府負担金事業)										
委託先・実施主体等											
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容				費目	実績(R6)	主な業務内容		
	扶助費	34,287	特別障害者(児)福祉手当								

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予 算 情 報	① 当初予算	29,366		31,164		35,706		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		29,366		31,164		35,706		0						
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	7,342		7,791		8,927		0						
	② 国支出金	22,024		23,373		26,779		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決 算 情 報	① 流充用額	2,344		3,367										
	② 配当予算	31,710		34,531										
	③ 執行額	31,710		34,287										
	④ 執行率	100.0%		99.3%										
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.21	/	0.01	0.07	/	0.01	/						
	② 概算人件費	1,708		588										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		33,418		34,875										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	特別障害者手当給付		種 類	民生費国庫負担金		26,096		実績金額	決算附属資料	14		頁
			特別障害者手当等返戻金			雑入		27				45		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—	—	—	—	
	支援の必要な対象者が制度を利用することができる。 【定性的評価】	目標値	—	—	—	—	—	—	—	—	
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	135	140	156					
	給付者数(実人数)	当初見込		127	135	140	156	R7年度実績			
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										
	対象となる人が申請できるよう、制度の周知を広報ふくちやまに掲載、手帳取得時の案内への記載する。 適正な審査と支給を行う。										
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度			
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績									
		目標値									
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績									
		当初見込									
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること	
	・重度の障害を有する特別障害者等に対する直接的な経済支援として有効である。 ・手帳発行時やホームページで周知はしているが、今後も対象となる方が申請できるよう継続して制度の周知を行う必要がある。	
現状の課題 に対する 改善策	・広報ふくちやまや市ホームページだけでなく、関係機関に対して制度の周知を図る。 ・国の制度で対象者や給付額が定められており、市が介入する余地はないため、今後も国の制度に基づき適正な事務を行う。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	障害者自立支援医療特別対策事業										事業コード	030102420304				
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造							
	施 策 名	3 多文化共生とユニバーサル社会の推進								施策コード	313					
事業担当	所属	150400 健康福祉部障害者福祉課						所属長	長沢 恭子							
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	02 社会福祉援護費		会計	01 一般会計		決算附属資料	113		頁
計画期間	開始年度	平成20年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市障害者計画、第7期障害福祉計画、第3期障害児福祉計画			R7現在の状況		継続中			
根拠法令等	福知山市障害者自立支援医療特別対策費事業実施要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・国制度の更生医療や府制度の福祉医療の対象とならない身体障害のある人で、継続的に医療を受ける必要がある人に対する京都府独自の制度。 ・厚生医療や福祉医療の対象とならないため自己負担が必要であり、高額になる場合もある。												
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・国や府制度の福祉医療制度の対象者ではなく、高額な医療費がかかるため経済的負担を軽減する支援が必要。												
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ・障害を伴う身体機能の低下を補うための医療を継続的に受けている身体障害のある人で、国制度の更生医療の対象とならない内部障害のある人に対し、医療費負担を軽減することで、障害のある人の健康の保持と福祉の増進を図る。												
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・呼吸器、ぼうこう又は直腸の機能障害で身体障害者手帳3級を所持する人が、保険による医療を受けた場合、その保険診療の自己負担分の一部を助成する。 ・国制度の更生医療の対象を一部拡大し、原則、現物給付で医療費の給付を行う。 【対象者と対象医療】・呼吸器の機能障害で身体障害者手帳3級所持者 → 在宅酸素療法 ・ぼうこう又は直腸の機能障害で身体障害者手帳3級所持者 → ぼうこう又は直腸の機能障害となった原因疾患及びストマ(人工肛門、人工ぼうこう)周辺の感染防止等の治療 【自己負担】・原則1割負担。ただし、対象者の所得の状況等を勘案して定めた自己負担上限額を限度とする。												
対象者	受給者証所持者					対象者数		8		単位あたりコスト		87.0	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (審査・支払事務の委託)												
委託先・実施主体等	京都府社会保険診療報酬支払基金又は京都府国民健康保険団体連合会												
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容				費目	実績(R6)	主な業務内容				
	役務費	2	事務取扱手数料										
	扶助費	338	特別対策事業受給者の医療費										

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	851		851		610		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		851		851		610		0						
予算財源内訳	① 一般財源	426		430		307		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	425		421		303		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		△ 2										
	② 配当予算	851		849										
	③ 執行額	449		340										
	④ 執行率	52.8%		40.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.02	/	0.07	0.02	/	0.07	/						
	② 概算人件費	356		356										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		805		696										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	障害者自立支援医療特別対策事業		種類	民生費府補助金		168		実績金額	決算附属資料	23		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—	—	—	
	支援の必要な対象者が制度を利用することができる。 【定性的評価】	目標値	—	—	—	—	—	—	—	
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	11	9	8				
	受給者証の交付人数(実人数)	当初見込	11	11	9	8	R7年度実績			
活動内容① (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 新たに手帳を取得した人で制度に該当する人や既に受給者証を交付されている人に対し、適切に受給者証の新規交付・更新を行う。 手帳発行時やホームページなどで制度の周知を図る。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度			
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績								
		目標値								
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績								
		当初見込								
活動内容② (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・国の更生医療や福祉医療(障害)の対象とならない人の医療費の負担軽減となっている。 ・本事業と他の医療費助成制度が受けられる人に対して、本事業を優先的に利用できるよう適切な案内をする必要がある。 ・対象者の死亡や他制度を利用されるなどにより、医療費の請求が減少したため、執行率が40%となった。	
現状の課題 に対する 改善策	・医療DXの推進により、複数公費の計算順序・計算方法の標準化が図れる(PMHの導入、地単公費の現物給付化)	

(単位：千円)

事業名	自立支援医療費負担金										事業コード	030102420305		
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち							政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造				
	施策名	3 多文化共生とユニバーサル社会の推進								施策コード	313			
事業担当	所属	150400 健康福祉部障害者福祉課							所属長	長沢 恭子				
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	02 社会福祉支援費		会計	01 一般会計	決算附属資料	113	頁
計画期間	開始年度	平成18年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市障害者計画、第7期障害福祉計画、第3期障害児福祉計画			R7現在の状況	他事業へ統合		
根拠法令等	福知山市障害者福祉サービス等利用支援事業実施要綱、京都府障害者福祉サービス等利用支援事業費補助金交付要綱													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()													
関連事業	—													

[illegible]

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	1,835		1,835		0		0	
	② 補正予算	0		0		0		0	
	③ 繰越予算	0		0		0		0	
	前年度繰越	0		0		0		0	
	次年度繰越	0		0		0		0	
小計(①～③)		1,835		1,835		0		0	
予算財源内訳	① 一般財源	1,835		1,835		0		0	
	② 国支出金	0		0		0		0	
	③ 府支出金	0		0		0		0	
	④ 地方債	0		0		0		0	
	⑤ その他特財	0		0		0		0	
	① 流充用額	38		42					
決算情報	② 配当予算	1,873		1,877					
	③ 執行額	1,873		1,877					
	④ 執行率	100.0%		100.0%					
	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.02	/	0.00	0.05	/	0.20	/	
人概工算	② 概算人件費	160		960					
	トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,033		2,837					
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	人	2543	2586	2598				
		目標値		2740	2543	2586	2598	R7年度実績		
		達成度	%	93%	102%	100%	0%	#VALUE!		
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	件	868	928	947				
		受給者証交付者数	当初見込	2704	2543	2586	947	R7年度実績		
活動内容① (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
		精神医療を受けるために通院する人に対し、受給者証を交付し、医療機関で受給者証を提示することで医療費の自己負担分が軽減される。 手帳発行時やホームページなどで制度の周知を図る。								

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績								
		目標値								
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績								
		当初見込								
活動内容② (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること								
	精神通院をする人の通院に係る医療費の自己負担を軽減することで、通院する人の治療を後押しとなった。 今後も継続した医療費に係る自己負担の軽減は必要である。								
現状の課題 に対する 改善策	・今後も継続して自立支援医療(精神通院)に係る医療費自己負担軽減を継続していく。 ・R7年度より「障害者自立支援医療(更生医療)給付事業」へ統合。統合後事業名「障害者自立支援医療事業」								

(単位：千円)

事業名	地域自立支援協議会運営事業										事業コード	030102420306				
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち							政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造						
	施策名	3 多文化共生とユニバーサル社会の推進								施策コード	313					
事業担当	所属	150400 健康福祉部障害者福祉課							所属長	長沢 恭子						
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	02 社会福祉援護費		会計	01 一般会計		決算附属資料	113		頁
計画期間	開始年度	平成18年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市障害者計画、第7期障害福祉計画、第3期障害児福祉計画					R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	障害者総合支援法															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()															
関連事業	一															

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 福知山市障害者計画、第7期福知山障害福祉計画及び第3期福知山市障害児福祉計画に基づき、障害者福祉の推進に取り組んでいる。 現在の計画は令和5年度の策定されており、令和8年度次期計画を策定予定。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 障害のある人が自立し地域生活や社会生活などが営めるよう、関係機関が目的や情報の共有を行い、計画の進捗管理や評価を行うことが重要である。 次期計画の策定に向けて現状把握や分析を始める必要がある。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 地域における障害のある人への支援体制に関する情報を共有し、関係機関の連携の緊密化を図るとともに、障害福祉サービス、相談支援、地域生活支援事業、障害児通所支援、障害児相談支援の提供体制を確保するための福知山市障害者計画、障害福祉計画及び障害児福祉計画策定に関する協議や計画の進捗状況把握と評価を行う。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか簡条書きで記載すること 福知山市自立支援協議会、部会の開催 ・福知山市障害者計画、障害福祉計画及び障害児福祉計画の状況把握及び評価 ・地域課題解決のための協議					
対象者	市民		対象者数	74,704	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()					
委託先・実施主体等						
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	報酬	112	自立支援協議会委員報酬			
	報償費	90	講演会講師謝礼			

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	196		456		4,770		0	
	② 補正予算	0		0		0		0	
	③ 繰越予算	0		0		0		0	
	前年度繰越	0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0			
小計(①～③)		196		456		4,770		0	
予算財源内訳	① 一般財源	196		456		1,270		0	
	② 国支出金	0		0		0		0	
	③ 府支出金	0		0		0		0	
	④ 地方債	0		0		0		0	
	⑤ その他特財	0		0		3,500		0	
決算情報	① 流充用額	0		△ 10					
	② 配当予算	196		446					
	③ 執行額	106		202					
	④ 執行率	54.1%		45.3%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.20	/	0.00	0.40	/	0.00	/	
	② 概算人件費	1,600		3,200					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,706		3,402					
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	回	1	1	1			
	自立支援協議会全大会開催回数	目標値		1	1	1	1	1	
		達成度	%	100%	100%	100%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	8	6	17			
	自立支援協議会部会開催回数	当初見込		18	18	18	18	18	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	5つの部会でそれぞれに情報共有、課題解決のための協議、研修などを行なう。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること								
	・全大会や各部会の活動の中で、地域課題の把握や情報の共有などが行えた。 ・個別事例を通じ良質なサービスの提供が出来るよう、講演会や研修会の実施などにより支援者のスキルの向上の取組が行えた。 ・障害福祉サービスの需要が年々増加傾向であるため、充分なサービス提供を行なうための人材や事業所の確保が課題である。 ・自立支援協議会の委員の欠席や資料配布を職員が行うなどにより執行率が45.3%となった。								
現状の課題 に対する 改善策	介護人材の発掘、育成、定着に向けた支援を継続して行くとともに、職場環境改善や処遇改善などの要望を国や府へ働きかける。								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	障害児者歯科診療所運営助成事業										事業コード	030102420332				
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造							
	施 策 名	3 多文化共生とユニバーサル社会の推進								施策コード	313					
事業担当	所属	150400 健康福祉部障害者福祉課						所属長	長沢 恭子							
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	02 社会福祉支援費		会計	01 一般会計		決算附属資料	114		頁
計画期間	開始年度	平成26年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市障害者計画、第7期障害福祉計画、第3期障害児福祉計画			R7現在の状況		継続中			
根拠法令等	福知山市京都歯科サービスセンター北部診療所運営費等補助金交付要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 一般歯科診療所で治療が困難な障害のある人が安心して治療を受けられる診療所が京都府北部地域になかったため、北部地域を対象とする京都歯科サービスセンター北部診療所が平成26年に開設された。 配慮の必要な対象者であり、一人当たりの治療時間が長くなるため、1日に診察できる人数に限りがある。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 対象者が限られること、診察できる人数に限りがあるため、歯科診療所の運営は厳しい。しかし、障害のある人にとって必要なサービスであり、継続して運営するには公的補助が必要。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 一般の歯科診療所での受診が困難な障害のある人が受診できる「京都歯科サービスセンター北部診療所」の運営費を支援することにより、運営の安定を図るとともに、京都府北部地域の障害のある人の歯科医療の確保や歯科口腔保健の向上を図る。 京都府北部の5市2町で助成									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 開設日時 毎週 水曜日、木曜日 午後1時～午後4時 (予約制) 歯科診療所の運営費を5市2町(福知山市、綾部市、舞鶴市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町)で按分して助成する。									
対象者	一般の歯科診療所での受診が困難な障害のある人					対象者数	69		単位あたりコスト	41.8
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	2,520		2,720		2,680		0				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①～③)		2,520		2,720		2,680		0				
予算財源内訳	① 一般財源	2,520		2,720		2,680		0				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0		0				
決算情報	① 流充用額	180		0								
	② 配当予算	2,700		2,720								
	③ 執行額	2,690		2,407								
	④ 執行率	99.6%		88.5%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.03	/	0.00	0.06	/	0.00	/				
	② 概算人件費	240		480								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,930		2,887								
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称			種類			実績金額			決算附属資料		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	人	72	69	69			
		目標値		66	72	69	69	R7年度実績	
	受診者数		達成度	%	109%	96%	100%	0%	#VALUE!
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	6.1	6.7	6.5			
	1日当たりの受診者数	当初見込		6.1	6.1	6.7	6.5	R7年度実績	
	活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
週に2回歯科診療所を開所し、一般歯科診療が困難な障害のある人の歯科診療を行う。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること								
	京都北部に住む一般歯科診療が困難な障害のある人が北部診療所で安心して治療を受けられることは評価できる。 診療所の運営は厳しいため、北部5市2町による助成は必要である。								
現状の課題 に対する 改善策									
	・5市2町による運営費助成を継続していく必要がある。 ・広く周知が必要であり、広報ふくちやまに毎年、掲載し周知を図る。								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	地域生活支援事業(地域活動支援センター事業)										事業コード	030102420337				
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造							
	施 策 名	3 多文化共生とユニバーサル社会の推進								施策コード	313					
事業担当	所属	150400 健康福祉部障害者福祉課						所属長	長沢 恭子							
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	02 社会福祉支援費		会計	01 一般会計		決算附属資料	114		頁
計画期間	開始年度	平成18年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市障害者計画、第7期障害福祉計画、第3期障害児福祉計画			R7現在の状況		他事業へ統合			
根拠法令等	障害者総合支援法、地域生活支援事業実施要綱、地域活動支援センター事業実施要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 障害者総合支援法第77条第1項第9号に規定する地域生活支援事業として実施					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 地域生活支援事業として実施 * 障害のある人が日中過ごせる居場所が必要					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 障害のある人が地域において、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、創作的活動や生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等を行なう場所として、地域活動支援センターを設置することにより、障害のある人の地域生活支援の促進を図る。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・市内事業所に事業を委託する。 ・対象者: 市内に居住する在宅の方で障害者総合支援法の対象となる障害のある人及び自立支援医療(精神通院)の受給証所持者 ・事業所において、以下の事業を実施 (1)創作的活動(2)機能訓練(3)社会適応訓練(4)入浴等のサービス(5)生産活動の機会の提供(6)社会交流の促進の援助(7)その他利用者に必要な支援					
対象者	障害のある人で地域活動支援センターを利用する人		対象者数	31	単位あたりコスト	210.5
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	5,591		5,568		0		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		5,591		5,568		0		0						
予算財源内訳	① 一般財源	2,657		1,810		0		0						
	② 国支出金	1,956		2,505		0		0						
	③ 府支出金	978		1,253		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		0										
	② 配当予算	5,591		5,568										
	③ 執行額	5,567		5,567										
	④ 執行率	99.6%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.10	/	0.00	0.12	/	0.00			/				
	② 概算人件費	800		960										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,367		6,527										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	地域生活支援事業		種類	民生費国庫補助金		1,582		実績金額	決算附属資料	15		頁
			地域生活支援事業			民生費府補助金		774				23		
				17										

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人		32	32	31				
		目標値		16	32	32	31	R7年度実績			
	利用者実人数		達成度	%	200%	100%	97%	0%	#VALUE!		
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人		847	988	921				
	延べ利用者数	当初見込		1074	847	988	921	R7年度実績			
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										
	障害のある人の特性に応じ、社会生活訓練や活動の場を提供する。										
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績									
		目標値									
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績									
		当初見込									
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	障害のある人が特性や適正に応じ自立した日常生活や社会生活を営むことができるように、料理教室やグループ活動、社会生活の訓練などを通じ地域での生活の場を提供している。 今後も利用者の特性や適正に応じた活動の提供を継続する必要がある。	
現状の課題 に対する 改善策	・今後も利用者の特性や適正に応じた活動の提供を継続していく。 ・R7年度より「地域生活支援事業(相談支援事業)」へ統合。統合後事業名「地域生活支援事業」	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	難聴児補装具給付事業										事業コード	030102420344				
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造							
	施 策 名	3 多文化共生とユニバーサル社会の推進								施策コード	313					
事業担当	所属	150400 健康福祉部障害者福祉課						所属長	長沢 恭子							
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	02 社会福祉支援費		会計	01 一般会計		決算附属資料	114		頁
計画期間	開始年度	平成26年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市障害者計画、第7期障害福祉計画、第3期障害児福祉計画				R7現在の状況	継続中			
根拠法令等	福知山市難聴児補聴器購入費等助成事業実施要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 身体障害者手帳の交付対象者に対しては、補装具給付事業による経済的支援があるが、軽度及び中度の難聴者は手帳対象者ではないため支援がない。 補聴器の購入又は修理は高額である。 手帳の該当とならない中軽度難聴の児童が補聴器の購入や修理に係る費用は実費となり高額のため経済的負担が大きい。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 18歳未満の言語の習得に大切な時期に聴こえの保証をすることは重要であり、高額な補聴器を購入するためには経済的支援が必要。										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 言語習得や社会性の向上に非常に重要な時期である18歳未満の児童で身体障害者手帳を持つことができない難聴児に対して、補聴器を給付することにより経済的負担を軽減するとともに言葉の学習効果を向上し、自立した社会生活を送ることを目的とする。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 軽度及び中度の難聴児が対象 補聴器の装用により、言語の習得等に一定の効果が期待できると医師が判断する難聴児に対し、京都府の指定する医療機関が作成する意見書をもとに支給決定をする。										
対象者	身体障害者手帳の対象とならない難聴児					対象者数	2		単位あたりコスト	404.0	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (										

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	186		186		162		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		186		186		162		0						
予算財源内訳	① 一般財源	93		93		81		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	93		93		81		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		62										
	② 配当予算	186		248										
	③ 執行額	152		248										
	④ 執行率	81.7%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.06	/	0.00	0.07	/	0.00	/						
	② 概算人件費	480		560										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		632		808										
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	難聴児補装具給付事業			種類	民生費府補助金		実績金額	119		決算附属資料	23		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—			
	支援の必要な対象者が制度を利用することができる。 【定性的評価】	目標値	—	—	—	—	—		
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	2	2	6			
	制度利用者数	当初見込	人	2	2	2	6	R7年度実績	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	市内の園、学校に対し、制度周知文書を送付する。 送付時期については、学校等から耳鼻科検診前など、必要な児童を把握しやすい時期を聞き取り、効果的な周知を行う。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること
	身体障害者手帳の対象とならない軽・中等度難聴児が事業の対象となっており、対象者の把握が困難であり、達成状況の判断が難しい。 保護者の経済的負担軽減とともに、児童の言語習得や社会性の向上を図るうえでも有効な制度であり、継続した支援が必要である。
現状の課題 に対する 改善策	保護者の経済的負担の軽減とともに、難聴児の言語習得や社会性の向上を支援するため、今後も実施する。 対象者の把握が困難ではあるが、耳鼻科検診を実施し、補聴器の装用が必要である児童を把握しやすい教育機関等に制度周知するとともに、健診後のタイミングに合わせて周知することで、より制度利用を必要とする児童保護者につなげる。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	地域生活支援事業（相談支援事業）										事業コード	030102420350			
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造						
	施 策 名	3 多文化共生とユニバーサル社会の推進								施策コード	313				
事業担当	所属	150400 健康福祉部障害者福祉課						所属長	長沢 恭子						
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	02 社会福祉支援費		会計	01 一般会計		決算附属資料	114	頁
計画期間	開始年度	平成18年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市障害者計画、第7期障害福祉計画、第3期障害児福祉計画			R7現在の状況		他事業を統合		
根拠法令等	障害者総合支援法、地域生活支援事業実施要綱、福知山市相談支援事業実施要綱														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 障害者総合支援法第77条第1項第9号に規定する地域生活支援事業として実施				
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 地域生活支援事業として実施 * 障害のある人及びその家族からの相談に応じる事業所が必要				
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ・障害のある人及びその家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供等の便宜を供与することや、権利擁護のために必要な援助を行うことにより、障害のある人が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるようにすることを目的とする。				
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 【障害者相談支援事業】市内4か所の指定特定相談支援事業所に委託。 (1) 福祉サービスの利用援助(情報提供、相談等) (2) 社会資源を活用するための支援(各種支援施策に関する助言・指導等) (3) 社会生活力を高めるための支援 (4) ピアカウンセリング (5) 権利の擁護のために必要な援助 (6) 専門機関の紹介 等 【基幹相談支援センター】市内の特定相談支援事業所に委託。(1) 総合的・専門的な相談支援の実施(2) 地域の相談支援体制の強化の取組(3) 自治体と協働した協議会の運営等による地域づくりの取組				
対象者	市民	対象者数	74,704	単位あたりコスト	0.5
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	33,806		36,366		114,123		0						
	② 補正予算	15,484		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		49,290		36,366		114,123		0						
予算財源内訳	① 一般財源	43,020		30,096		47,630		0						
	② 国支出金	4,180		4,180		44,329		0						
	③ 府支出金	2,090		2,090		22,164		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	798		0										
	② 配当予算	50,088		36,366										
	③ 執行額	48,909		35,725										
	④ 執行率	97.6%		98.2%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.25	/	0.01	0.22	/	0.01	/						
	② 概算人件費	2,028		1,788										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		50,937		37,513										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	地域生活支援事業		種類	民生費国庫補助金		実績金額	9,337		決算附属資料	15		頁
			地域生活支援事業			民生費府補助金			4,570			23		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	12101	14206	15781			
		目標値		15726	12101	14206	15781	R7年度実績	
	障害者相談支援事業所の年間相談件数		達成度	%	77%	117%	111%	0%	#VALUE!
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	事業所	4	4	4			
	相談支援事業所委託数	当初見込		4	4	4	4	4	
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
活動内容① (アクティビティ)	自立支援協議会相談支援部会で障害者相談支援事業における相談内容の分析を行う。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
活動内容② (アクティビティ)									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること	
	障害者相談支援事業所へ相談業務を委託し、障害のある人の日常の困りごとへの相談や助言、情報提供などにより、障害のある人が地域で自立して暮らしていく支援ができた。 今後も、障害のある人の様々な相談に対応する必要がある。 障害のある人の相談ニーズに対して人的資源が不足している。	
現状の課題 に対する 改善策	・相談支援事業を継続して行う。 ・R7年度より「地域生活支援事業(相談支援事業)」を統合。統合後事業名「地域生活支援事業」	

1 事業属性

(単位：千円)

事業名	地域生活支援事業(意思疎通支援事業)						事業コード	030102420351			
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造				
	施策名	3 多文化共生とユニバーサル社会の推進					施策コード	313			
事業担当	所属	150400 健康福祉部障害者福祉課				所属長	長沢 恭子				
会計情報	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 社会福祉援護費	会計	01 一般会計	決算附属資料	114	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市障害者計画、第7期障害福祉計画、第3期障害児福祉計画			R7現在の状況	他事業へ統合	
根拠法令等	障害者総合支援法、地域生活支援事業実施要綱、福知山市意思疎通支援事業実施要綱										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()										
関連事業	—										

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 障害者総合支援法第77条第1項第9号に規定する地域生活支援事業として実施 聴覚、言語機能、音声機能の障害のある人は、意思疎通が困難である。また、その他の障害のある人でも、その障害の特性により意思疎通が困難場合がある。 市内で活動できる意思疎通支援者が少ない。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 特性に応じ、必要な意思疎通支援が必要。 市内で活動できる意思疎通支援者(手話通訳者や要約筆記者)の人材の確保が困難。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 聴覚、言語機能、音声機能その他の障害のため、意思疎通を図ることに支障がある障害のある人等の意思疎通の円滑化を図る。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか簡条書きで記載すること 意思疎通を図ることに支障がある人等が誰でも円滑な意思疎通が図れるように支援する。 ・コミュニケーション支援者養成事業 ・手話通訳者、要約筆記者の派遣 ・各種相談、情報提供、集いの場の提供など					
対象者	市民		対象者数	74,704	単位あたりコスト	0.2
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()					
委託先・実施主体等	社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会					
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	報償費	384	手話通訳者及び要約筆記者の派遣費用			
	委託料	15,749	事業運営にかかる委託料			

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	16,504		16,242		0		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		16,504		16,242		0		0						
予算財源内訳	① 一般財源	4,126		4,060		0		0						
	② 国支出金	8,252		8,121		0		0						
	③ 府支出金	4,126		4,061		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
	① 流充用額	0		0										
決算情報	② 配当予算	16,504		16,242										
	③ 執行額	15,934		16,133										
	④ 執行率	96.5%		99.3%										
	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.21	/	0.00	0.16	/	0.00			/				
人概工算	② 概算人件費	1,680		1,280										
	トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	17,614		17,413										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	地域生活支援事業		種類	民生費国庫補助金		実績金額	5,112		決算附属資料	15		頁
			地域生活支援事業			民生費府補助金			2,502			23		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	件		182	232	220			
		目標値			366	403	249	220	R7年度実績	
	手話通訳者等の派遣実績		達成度	%	50%	58%	88%	0%	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人		31	28	50			
	手話・要約筆記養成講座修了者数	当初見込			45	45	45	45	45	
	活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 市民向けに奉仕員養成講座を開催し、多くの人に受講いただけるよう周知を図る。 障害者手帳取得時など、様々な意思疎通支援があることを伝え、必要な支援を受けられるよう伝える。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績								
		目標値								
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績								
		当初見込								
	活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・手話通訳や要約筆記をコミュニケーション方法とする人にとって、手話通訳や要約筆記の派遣は日常生活や社会生活を営むために必要な支援である。 ・現在、市内で活動できる意思疎通支援者(手話通訳者や要約筆記者)が少なく、人材の確保が課題である。	
現状の課題 に対する 改善策	・奉仕員養成講座受講後の受講者と関係団体との橋渡し、手話通訳者・要約筆記者となるための次の段階の講座への受講支援、受験対策支援について、市内で活動する支援団体や近隣市とともに検討する。 ・R7年度より「地域生活支援事業(相談支援事業)」へ統合。統合後事業名「地域生活支援事業」	

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	地域生活支援事業(日常生活用具給付事業)							事業コード	030102420352					
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造					
	施策名	3 多文化共生とユニバーサル社会の推進							施策コード	313				
事業担当	所属	150400 健康福祉部障害者福祉課					所属長	長沢 恭子						
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	02 社会福祉援護費		会計	01 一般会計	決算附属資料	115	頁
計画期間	開始年度	平成18年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市障害者計画、第7期障害福祉計画、第3期障害児福祉計画			R7現在の状況	他事業へ統合		
根拠法令等	障害者総合支援法、地域生活支援事業実施要綱、福知山市障害者等日常生活用具給付実施要綱													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()													
関連事業	—													

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 障害者総合支援法第77条第1項第9号に規定する地域生活支援事業として実施 以前は国の支給基準によっていた制度であったが、地域の特徴を生かすために、現在は市町村ごとに限度額や対象品目が異なる。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 地域生活支援事業として実施 ＊ 障害のある人にとって必要であり、一般的に普及していない日常生活用具の給付が必要					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 障害のある人等に対し、自立生活支援用具等の日常生活用具を給付することにより、日常生活の便宜を図り、その福祉の増進に資することを目的とする。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 障害のある人等を対象に日常生活上の便宜を図るため、特殊寝台、特殊便器、盲人用時計、スマなどの日常生活用具を給付する。 日常生活用具を必要とする障害者等(難病患者含む)が申請を行い、市は申請者に交付決定を、購入業者に給付券を支給する。 用品入手後に、申請者は受取りの確認と自己負担費用を購入業者に支払い、購入業者は支給券に基づき市へ請求をする。 市は購入業者へ支払いを行う。 給付の要件：用具の作成、改良又は開発に当たって障害に関する専門的な知識や技術を要するもので、日常生活用具として一般的に普及していないものとする。					
対象者	障害のある人で日常生活用具の給付を受ける人		対象者数	254	単位あたりコスト	106.5
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()					
委託先・実施主体等						
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	扶助費	24,219	ストマ装具、紙おむつ、その他日常生活用具等			

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	22,945		22,127		0		0		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①～③)		22,945		22,127		0		0		
予算財源内訳	① 一般財源	5,749		5,544		0		0		
	② 国支出金	11,464		11,055		0		0		
	③ 府支出金	5,732		5,528		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	0		0		0		0		
決算情報	① 流充用額	134		2,109						
	② 配当予算	23,079		24,236						
	③ 執行額	23,062		24,219						
	④ 執行率	99.9%		99.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.31	/	0.01	0.35	/	0.01			/
	② 概算人件費	2,508		2,828						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		25,570		27,047						
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	地域生活支援事業	種類	民生費国庫補助金	実績金額	7,756	決算附属資料	15	頁
			地域生活支援事業		民生費府補助金		3,797		23	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—	—	
	支援の必要な対象者が制度を利用することができる。 【定性的評価】	目標値	—	—	—	—	—	—	
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	243	265	256			
	支給決定者数	当初見込		234	243	265	256	R7年度実績	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	障害者手帳交付時に制度案内を行う。 要綱に則り、適切な給付を行う。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・重度障害のある人の日常生活支援として有効である。 ・ストマ装具に関しては、直腸機能障害、ぼうこう機能障害の身体障害者手帳の所持者全員に案内を送っているため、必要な方に行き届いている。 ・ストマ装具以外は、障害者手帳所持者でもそれぞれの障害の種類や程度によって必要な用具が異なり、各個人の申請により給付することになるため、必要な人全てが申請されているかの把握は難しい。 対象とする品目や金額について、他市とのバランスや実勢価格に照らし見直しが必要となる。 近隣市町で交付対象が異なっていたり、新たな価格設定や品目追加があると問い合わせがあり、近隣市町の状況把握は必要である。	
現状の課題 に対する 改善策	・必要な人が給付を受けられるように、障害者手帳交付時に制度の案内を行う。 ・障害のある人や家族からの相談がある日常生活用具については、他市の状況などを調査研究する。 ・R7年度より「地域生活支援事業(相談支援事業)」へ統合。統合後事業名「地域生活支援事業」	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	地域生活支援事業（移動支援事業）										事業コード	030102420353			
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造						
	施 策 名	3 多文化共生とユニバーサル社会の推進								施策コード	313				
事業担当	所属	150400 健康福祉部障害者福祉課						所属長	長沢 恭子						
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	02 社会福祉支援費		会計	01 一般会計		決算附属資料	115	頁
計画期間	開始年度	平成18年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市障害者計画、第7期障害福祉計画、第3期障害児福祉計画			R7現在の状況		他事業へ統合		
根拠法令等	障害者総合支援法、地域生活支援事業実施要綱、福知山市障害者移動支援事業実施要綱														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 障害者総合支援法第77条第1項第9号に規定する地域生活支援事業として実施										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 地域生活支援事業として実施 * 屋外での移動が困難な障害のある人及び障害のある子どもが外出をする際には支援が必要である。 家族の就労や支援する家族、人が不在となることにより地域での自立生活及び社会参加が出来ないことがある。										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 屋外での移動が困難な障害のある人及び障害のある子ども(以下「障害のある人等」という。))に対し、障害者移動支援事業を行うことにより、障害のある人等の地域での自立生活及び社会参加を促すことを目的とする。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人、又は障害者手帳を所持していない人で、医師の診断書や家庭支援総合センター等に意見を求めて障害があることが確認できた人に対し、社会生活上必要不可欠な外出や余暇活動等、社会参加のための外出に対して支援を行う。 ・30時間／月を上限とし、利用実績に応じて自己負担分を除いた金額を事業者へ支払う。										
対象者	移動支援給付決定者					対象者数	68		単位あたりコスト	110.3	
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (登録事業所により実施)										
委託先・実施主体等	《うん・はつは》、NPO法人 オークラ福祉応援団(ハローハロー)、社会福祉法人 福知山市社会福祉協議会、《社会福祉法人 福知山市社会福祉協議会 夜久野支所》、ガイドヘルプ ふくちやま、《ミストラル介護センター》、《シンフォニー》、《福知山市聴覚言語障害センター》、居宅介護事業所ヘルパー屋さん、《》は登録があるが										
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容				費目	実績(R6)	主な業務内容		
	扶助費	6,991	移動支援事業費								

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	14,625		9,796		0		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		14,625		9,796		0		0						
予算財源内訳	① 一般財源	3,657		2,449		0		0						
	② 国支出金	7,312		4,898		0		0						
	③ 府支出金	3,656		2,449		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	△ 3,731		△ 223										
	② 配当予算	10,894		9,573										
	③ 執行額	8,628		6,991										
	④ 執行率	79.2%		73.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.09	/	0.01	0.06	/	0.01			/				
	② 概算人件費	748		508										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		9,376		7,499										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	地域生活支援事業		種類	民生費国庫補助金		2,239		実績金額	決算附属資料	15		頁
			地域生活支援事業			民生費府補助金		1,096				23		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—	—	—	—	
	支援の必要な対象者が制度を利用することができる。 【定性的評価】	目標値	—	—	—	—	—	—	—	—	
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	29	33	36					
	事業実利用者数	当初見込		33	29	33	36	R7年度実績			
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										
	相談支援事業所や障害児通所事業所などと連携し、支援が必要な人に対し円滑な支給決定を行う。										
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度			
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績									
		目標値									
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績									
		当初見込									
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・事業利用により、ひきこもりがちな人々が、余暇活動を楽しまれるなど、社会参加や自立生活につながっており、必要不可欠な事業である。 ・実施要綱及び要領に基づいた適切な事業運営及び活用ができるよう実地調査を通じて実態を把握する必要がある。 ・必要な方が適切に利用できるよう、制度内容について利用者と登録事業所に周知を図っていく必要がある。 ・利用者が支援を希望しても障害の程度によっては利用できる登録事業所が限られてしまったり、支援員の不足がある。 ・登録事業所によりサービスを提供しているため、市外の施設入所で登録にない事業所の利用を希望された場合は登録する必要があるため、すぐに利用できない。	
現状の課題 に対する 改善策		
	・適切な時期に実地調査を実施する。 ・必要な方に適切に利用いただけるよう、適切な利用法について、利用者と登録事業所に周知する。 ・相談支援事業所や障害児通所事業所などと連携し、支援が必要な人の円滑な利用につなげる。 ・R7年度より「地域生活支援事業(相談支援事業)」へ統合。統合後事業名「地域生活支援事業」	

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	地域生活支援事業（訪問入浴サービス事業）							事業コード	030102420356			
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち					政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造				
	施策名	3 多文化共生とユニバーサル社会の推進						施策コード	313			
事業担当	所属	150400 健康福祉部障害者福祉課					所属長	長沢 恭子				
会計情報	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 社会福祉援護費		会計	01 一般会計	決算附属資料	115	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市障害者計画、第7期障害福祉計画、第3期障害児福祉計画			R7現在の状況	他事業へ統合		
根拠法令等	障害者総合支援法、地域生活支援事業実施要綱、福知山市在宅重度障害児・者入浴サービス事業実施要綱											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 （ ）											
関連事業	－											

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 障害者総合支援法第77条第1項第9号に規定する地域生活支援事業として実施					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 地域生活支援事業として実施 *在宅で生活する重度の身体障害のある人で自宅の浴槽で入浴できない方が入浴できるよう支援が必要。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 身体上の障害により入浴に支障のある在宅の重度の身体障害のある人に対し、訪問入浴サービスを行うことにより、当該重度の身体障害のある人の身体の清潔の保持、心身機能の維持による健康保持をもって福祉の向上を図ることを目的とする。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・福知山市内で訪問入浴を実施している事業所に事業委託 ・在宅の重度の身体障害のある人に対し、事業所が訪問入浴車で自宅を訪問し、入浴サービスを提供する					
対象者	在宅で重度の身体障害のある人・子ども		対象者数	7	単位あたりコスト	1,223.7
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()					
委託先・実施主体等	社会福祉法人福知山市社会福祉協議会 アサヒサンクライン株式会社					
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	委託料	7,766	入浴サービスを行う事業所への委託料			

区 分		R5(評価前年度)	R6(評価年度)	R7(本年度)	R8(要求年度)
予算情報	① 当初予算	13,608	13,608	0	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)		13,608	13,608	0	0
予算財源内訳	① 一般財源	3,402	3,402	0	0
	② 国支出金	6,804	6,804	0	0
	③ 府支出金	3,402	3,402	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	0	0	0	0
決算情報	① 流充用額	△ 1,867	△ 5,628		
	② 配当予算	11,741	7,980		
	③ 執行額	8,692	7,766		
	④ 執行率	74.0%	97.3%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.11 / 0.00	0.10 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	880	800		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		9,572	8,566		

主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	地域生活支援事業	種類	民生費国庫補助金	実績金額	2,487	決算附属資料	15	頁
		地域生活支援事業		民生費府補助金		1,217		23	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	9	8	7			
		目標値		13	9	8	7	R7年度実績	
		利用者数	達成度	%	69%	89%	88%	0%	#VALUE!
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	770	702	622			
		当初見込		1074	770	702	622	R7年度実績	
		年間利用回数							
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	看護師や介護職員が自宅を訪問し、浴槽を提供して入浴サービスを行なう。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること
	身体上の障害により入浴に支障のある在宅の重度の身体障害のある人に対し、ニーズに応じて、訪問入浴サービスが提供できた。 サービス提供が必要な人に周知し、必要な人がサービスを利用できることが重要。
現状の課題 に対する 改善策	
	・今後もサービスが必要な人にサービスが提供できるよう継続する必要がある。 ・R7年度より「地域生活支援事業(相談支援事業)」へ統合。統合後事業名「地域生活支援事業」

1 事業属性

(単位：千円)

事業名	地域生活支援事業(社会参加促進事業)							事業コード	030102420357							
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造							
	施策名	3 多文化共生とユニバーサル社会の推進							施策コード	313						
事業担当	所属	150400 健康福祉部障害者福祉課						所属長	長沢 恭子							
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	02 社会福祉援護費		会計	01 一般会計		決算附属資料	115		頁
計画期間	開始年度	平成18年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市障害者計画、第7期障害福祉計画、第3期障害児福祉計画			R7現在の状況	他事業へ統合				
根拠法令等	障害者総合支援法、地域生活支援事業実施要綱、福知山市障害者団体バス借上補助金交付要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()															
関連事業	—															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 障害者総合支援法第77条第1項第9号に規定する地域生活支援事業として実施 障害があることで外出の機会が少なくなる傾向にある。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 地域生活支援事業として実施 *障害がある人が外出し、社会参加をするための支援や障害のある人が参加しやすいイベントの企画などが必要。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づきまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 障害のある人を限定する事業や障害のある人もない人も参加できる事業を展開し、障害のある人の社会参加の促進や交流とともに市民の障害への理解促進を図る。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・障害のある人等の余暇活動やスポーツ、日常生活に必要な知識の習得、体験ができる機会として、各種教室やイベントの開催。 ・障害者団体の社会参加活動を補助するための団体のバス借上げ補助。 ・障害のある人等が日頃の練習や活動の成果を発表する場の提供。 *各種イベント、教室などは障害のある当事者の意見を伺いながら実施している。					
対象者	障害のある人	対象者数	4,568	単位あたりコスト	1.6	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 ()					
委託先・実施主体等	京都ユニオンサービス株式会社、前田観光自動車株式会社、舞台照明CREW・SOLOOK、ふれあい福祉フェスタ運営委員会、福知山市身体障害者団体連合会、夜久野支部、福知山市身体障害者団体連合会、福知山市身体障害者団体連合会、内部障害者協会、福知山障害児(者)親の会					
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	報償費	244	デイサービス事業の各種講座にかかる講師謝礼等			
	旅費	3	体験事業等旅費			
	需用費	189	障害者週間にかかる啓発物品等			
	委託料	259	バス運行業務			
	使用料及び賃借料	146	バス借り上げ			
	負担金補助及び交付金	765	ふれあい福祉フェスタ交付金、障害者団体バス借り上げ補助金			

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)		
予 算 情 報	① 当初予算	2,836		2,510		0		0		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①～③)		2,836		2,510		0		0		
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	709		667		0		0		
	② 国支出金	1,418		1,229		0		0		
	③ 府支出金	709		614		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	0		0		0		0		
決 算 情 報	① 流充用額	△ 197		△ 70						
	② 配当予算	2,639		2,440						
	③ 執行額	1,543		1,607						
	④ 執行率	58.5%		65.9%						
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.72	/	0.01	0.72	/	0.01	/		
	② 概算人件費	5,788		5,788						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		7,331		7,395						
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	地域生活支援事業	種類	民生費国庫補助金	実績金額	226	決算附属資料	15	頁	
		地域生活支援事業		民生費府補助金		111		23		
		在宅障害者デイサービス事業参加負担金		雑入		2		49		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	109	136	230			
		目標値		190	190	190	230	R7年度実績	
	在宅障害者デイサービス及び社会参加促進事業参加者数		達成度	%	57%	72%	121%	0%	#VALUE!
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	2	2	2			
	運営委員会実施回数								
		当初見込		2	2	2	2	2	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	在宅障害者デイサービス及び社会参加促進事業運営委員会を開催し、障害のある当事者とともに参加しやすい事業となるよう検討する。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること ・外出の機会が少なくなりがちな障害のある人の社会参加の機会となり、障害や障害のある人に対する市民の理解を深める機会としても、重要な役割を果たす事業である。 ・参加者が固定化することがないよう、またできるだけ多くの人に参加していただけるよう事業内容の工夫やさらなる周知を図る必要がある。
現状の課題に対する改善策	・参加者が固定化している事業、参加者の少ない事業については、運営委員会等で事業内容や周知方法を検討する。 ・引き続き障害のある当事者の意見を伺いながら、ニーズに応じた参加しやすい事業が実施できるよう工夫する。 ・R7年度より「地域生活支援事業(相談支援事業)」へ統合。統合後事業名「地域生活支援事業」

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	地域生活支援事業(日中一時支援事業)							事業コード	030102420359					
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造					
	施策名	3 多文化共生とユニバーサル社会の推進							施策コード	313				
事業担当	所属	150400 健康福祉部障害者福祉課						所属長	長沢 恭子					
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	02 社会福祉援護費		会計	01 一般会計	決算附属資料	115	頁
計画期間	開始年度	平成18年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市障害者計画、第7期障害福祉計画、第3期障害児福祉計画			R7現在の状況	他事業へ統合		
根拠法令等	障害者総合支援法、地域生活支援事業実施要綱、福知山市日中一時支援事業実施要綱													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()													
関連事業	—													

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 障害者総合支援法第77条第1項第9号に規定する地域生活支援事業として実施 障害のある人を日常的に介護している人の負担は大きい。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 地域生活支援事業として実施 ※障害のある人を介護する人が、就労や休息を希望するときに取り組むことができるよう支援が必要。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 見守りの必要な障害のある人(児童を含む)を日常的に介護している家族等の就労支援、療養又は一時的な休息の確保と、障害のある人の日中における活動の場の提供を目的とする。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・障害福祉サービス等事業所を登録し、登録事業所においてサービスを提供する。 ・利用申請時において、申請者の利用目的を確認し、事業目的と合致している者に対して支給決定を行う。					
対象者	日中一時事業給付決定者		対象者数	59	単位あたりコスト	241.7
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (登録事業所にて実施)					
委託先・実施主体等	はんでい、はんぎつす、あやべ作業所、コーンクラブ三段池、むどへ翠光園、おさたの翠光園、みつみ福祉会、ぎきょうの杜、NPO法人 オーグラ福祉応援団、BGM福祉サービス					
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	扶助費	12,872	日中一時事業にかかる経費			

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	15,735		13,893		0		0		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①～③)		15,735		13,893		0		0		
予算財源内訳	① 一般財源	3,935		3,474		0		0		
	② 国支出金	7,867		6,946		0		0		
	③ 府支出金	3,933		3,473		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	0		0		0		0		
決算情報	① 流充用額	0		△ 15						
	② 配当予算	15,735		13,878						
	③ 執行額	15,210		12,872						
	④ 執行率	96.7%		92.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.16	/	0.01	0.17	/	0.01			/
	② 概算人件費	1,308		1,388						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		16,518		14,260						
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	地域生活支援事業	種類	民生費国庫補助金	実績金額	3,875	決算附属資料	15	頁
			地域生活支援事業		民生費府補助金		1,897		23	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—	—	—	
	支援の必要な対象者が制度を利用することができる。 【定性的評価】	目標値	—	—	—	—	—	—	—	
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	77	76	59				
	実利用者数	当初見込		73	77	76	59	R7年度実績		
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	日中に見守りの必要がある障害のある人がいる家族の就労支援や休息の確保のために、障害のある人に対し、日中活動の場を提供する。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績								
		目標値								
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績								
		当初見込								
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること	
	見守りの必要な障害のある人(児童を含む)の日中活動の場の提供及び社会参加の促進、家族のレスパイトや就労の機会の確保など障害のある人や介護者が社会生活を安心して営むために役立っている。 障害のある人やその家族の支援のため事業の継続が必要である。 就労している保護者は出勤時間に合わせて早朝からのサービス利用のニーズがあるが、早朝からのサービス提供に対応できる事業所が少ない。	
現状の課題 に対する 改善策	・今後も事業を継続する。 ・早朝からのサービス提供の実施に向けては、利用者のニーズを具体的に把握する必要がある。また、事業所が早朝からのサービスを提供するために何が課題であるかなど実態を探る必要がある。 ・R7年度より「地域生活支援事業(相談支援事業)」へ統合。統合後事業名「地域生活支援事業」	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	障害者自立支援医療(更生医療)給付事業										事業コード	030102420361				
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造							
	施 策 名	3 多文化共生とユニバーサル社会の推進								施策コード	313					
事業担当	所属	150400 健康福祉部障害者福祉課						所属長	長沢 恭子							
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	02 社会福祉支援費		会計	01 一般会計		決算附属資料	115		頁
計画期間	開始年度	平成18年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市障害者計画、第7期障害福祉計画、第3期障害児福祉計画			R7現在の状況		他事業を統合			
根拠法令等	障害者総合支援法															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☒ その他 (国府負担金事業)															
関連事業	－															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 国の制度に基づき実施 身体に障害のある18歳以上の人がその障害の除去・軽減し、日常生活能力、社会生活能力又は、職業能力を回復又は向上させる治療(関節形成術、血液透析治療法、心臓手術)などの医療費の助成を行い経済的負担を軽減し、健康維持、福祉の増進を図る。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 国の制度に基づいて実施 医療費が高額になるため、経済的負担を軽減するための支援が必要。										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 身体障害のある人の医療費の負担を軽減することで、障害のある人の福祉の増進を図る。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 18歳以上の身体障害者手帳所持者が下記の医療を受ける場合に医療費を助成する。 【更生医療の対象】 角膜手術、関節形成手術、外耳道形成手術、心臓脈管手術、人工透析療法、腎移植術、肝臓移植術など										
対象者	該当の医療を知事指定の医療機関で受けた人					対象者数	165		単位あたりコスト	299.1	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (										

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予 算 情 報	① 当初予算	53,202		45,120		43,916		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		53,202		45,120		43,916		0						
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	12,111		10,120		11,166		0						
	② 国支出金	26,541		22,500		21,000		0						
	③ 府支出金	14,550		12,500		11,750		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決 算 情 報	① 流充用額	△ 10,000		3,319										
	② 配当予算	43,202		48,439										
	③ 執行額	40,313		48,439										
	④ 執行率	93.3%		100.0%										
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員 / 全庁年度任用職員)	0.02	/	0.27	0.02	/	0.27	/						
	② 概算人件費	916		916										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		41,229		49,355										
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	自立支援医療(厚生医療費)			種類	民生費国庫負担金		実績金額	16,957		決算附属資料	13		頁
		自立支援医療(厚生医療費)				民生費府負担金			10,750			21		
						25								

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	人	223	220	165			
		目標値		194	223	220	165	R7年度実績	
	実利用者数	達成度		%	115%	99%	75%	0%	#VALUE!
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	2939	2996	2936			
		当初見込		3033	2939	2996	2936	R7年度実績	
	年間支給件数								
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	18歳以上の身体障害者手帳所持者が身体障害者の日常生活能力や職業能力を回復、改善するために、障害の程度を軽くしたり、取り除いたり、あるいは障害の進行を防ぐことを目的として行われる医療費の助成。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度		%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所 属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること
	更生医療を受ける人の医療費の負担を軽減することで、健康の維持、福祉の増進が図れた。 今後も継続した医療費に係る自己負担の軽減は必要である。
現状の課題 に対する 改善策	
	・今後も継続して自立支援医療(更生医療)に係る医療費負担軽減を継続していく。 ・R7年度より「障害者自立支援医療(更生医療)給付事業」を統合。統合後の事業名「障害者自立支援医療事業」

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	障害支援区分認定事業										事業コード	030102420362				
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造							
	施 策 名	3 多文化共生とユニバーサル社会の推進								施策コード	313					
事業担当	所属	150400 健康福祉部障害者福祉課						所属長	長沢 恭子							
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	02 社会福祉支援費		会計	01 一般会計		決算附属資料	115・116		頁
計画期間	開始年度	平成18年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市障害者計画、第7期障害福祉計画、第3期障害児福祉計画				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・障害福祉サービスの利用にあたっては支援の必要度合いを示す障害支援区分の調査、認定を受けサービスの利用申請をする。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・障害福祉サービスの利用にあたって区分の調査、認定が必要である。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスを利用するにあたり、障害者等の障害の多様な特性その他の心身の状態に応じて必要とされる標準的な支援の度合いを明らかにするために障害支援区分認定を行う。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・障害者総合支援法第20条に基づき、行政の担当者又は相談支援事業所への委託により、必要な支援の度合いを調査する。 ・障害者総合支援法第21条に基づき、専門知識を有する委員を招聘し、審査会を開催し、区分を認定する。					
対象者	介護等給付サービス及び共同生活援助利用希望者		対象者数	172	単位あたりコスト	29.6
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	3,151		3,142		3,166		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		3,151		3,142		3,166		0						
予算財源内訳	① 一般財源	3,151		3,142		3,166		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		30										
	② 配当予算	3,151		3,172										
	③ 執行額	2,716		3,047										
	④ 執行率	86.2%		96.1%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.20	/	0.10	0.22	/	0.10	/						
	② 概算人件費	1,880		2,040										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,596		5,087										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算附属資料			頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—	—	
	支援の必要な対象者が制度を利用することができる。 【定性的評価】	目標値	—	—	—	—	—	—	
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	201	161	192			
	障害支援区分認定件数	当初見込		165	201	161	192	R7年度実績	
活動内容① (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	障害者総合支援法に基づき障害支援区分の認定を行う								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※ 必要性、効率性、有効性の観点 を基に記述すること 障害福祉サービスを利用するにあたり、障害者等の障害の多様な特性その他の心身の状態に応じて必要とされる標準的な支援の度合を明らかにするために障害支援区分認定を行い障害者福祉サービスの利用につなげられた。 継続して、障害福祉サービスの利用を希望される人に対して障害支援区分認定が必要である。

現状の課題 に対する 改善策	今後も障害福祉サービスの利用を希望される人に対して障害支援区分認定調査を継続していく。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	身体障害者(児)補装具給付事業						事業コード	030102420364						
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造							
	施策名	3 多文化共生とユニバーサル社会の推進					施策コード	313						
事業担当	所属	150400 健康福祉部障害者福祉課				所属長	長沢 恭子							
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	02 社会福祉援護費		会計	01 一般会計	決算附属資料	116	頁
計画期間	開始年度	平成18年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市障害者計画、第7期障害福祉計画、第3期障害児福祉計画		R7現在の状況	継続中			
根拠法令等	障害者総合支援法、福知山市身体障害児補装具費用一部負担金等補助金交付要綱													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☒ その他 (国府負担金事業)													
関連事業	—													

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 障害者総合支援法に基づき実施。 * 身体の欠損又は損なわれた身体機能を補完・代替する用具の購入又は修理に要した費用の一部を支給。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 障害者総合支援法に基づき実施。 * 障害のある人が日常生活を容易にするために補装具等を購入、修理に係る経済的負担の軽減が必要。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 身体の欠損又は損なわれた身体機能を補完・代替する用具の購入又は修理に要した費用の一部を支給することで、障害のある人が日常生活を送る上で必要な移動等の確保や就労場面における能率の向上を図ること及び障害のある子どもが将来、社会人として自立自活するための素地を育成・助長することを目的とする。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 身体障害者手帳の交付を受けている人、または政令に定める疾病の難病患者等に対し、障害のある部位を補って日常生活を容易にするために補装具の交付と修理を行う。 ・視覚障害のある人…視覚障害者安全つえ、義眼、眼鏡など ・聴覚障害のある人…補聴器 ・肢体障害のある人…義肢、装具、車椅子、電動車椅子、座位保持装置など					
対象者	補装具を必要とする障害のある人、難病患者等(政令に定める疾病)		対象者数	4,568	単位あたりコスト	6.2
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (国府負担金事業)					
委託先・実施主体等						

主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	扶助費	25,489	補装具費の給付にかかる経費			

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)				
予 算 情 報	① 当初予算	23,375		24,797		25,284		0				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①～③)		23,375		24,797		25,284		0				
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	5,798		6,153		6,274		0				
	② 国支出金	11,687		12,398		12,642		0				
	③ 府支出金	5,890		6,246		6,368		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0		0				
決 算 情 報	① 流充用額	0		692								
	② 配当予算	23,375		25,489								
	③ 執行額	22,239		25,489								
	④ 執行率	95.1%		100.0%								
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員 / 全計年度任用職員)	0.42	/	0.00	0.34	/	0.00	/				
	② 概算人件費	3,360		2,720								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		25,599		28,209								
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	補装具給付事業		種類	民生費国庫負担金		11,103		決算附属資料	14	頁
			補装具給付事業			民生費府負担金		6,291			21	
			補装具費返還金			雑入		3			45	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—	—	—	
	支援の必要な対象者が制度を利用することができる。 【定性的評価】	目標値	—	—	—	—	—	—		
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	201	161	158				
	支給決定件数	当初見込		190	201	161	158	R7年度実績		
活動内容① (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	障害者手帳取得時や、窓口で相談があった時など、随時案内を確実に実施する。 医療機関等へ制度情報を提供する。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績								
		目標値								
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績								
		当初見込								
		※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
活動内容② (アクティビティ)										

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・障害のある人の日常生活及び社会生活を営むための支援として有効である。 ・障害者手帳所持者でも、個々の症状によって必要な装具が異なる。障害者手帳取得時や、窓口で相談があった時などはその人に応じた補装具についての制度案内をしている。いずれの障害においても、障害者手帳交付時の案内や医師からの紹介で支給を受けられており、必要としている人には行き渡っていると考えている。	
現状の課題 に対する 改善策	・今後も国制度に則り、適正な事務を行う。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	医療的ケア児者・重症心身障害児者福祉サービス利用等促進事業										事業コード	030102420365				
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造							
	施 策 名	3 多文化共生とユニバーサル社会の推進								施策コード	313					
事業担当	所属	150400 健康福祉部障害者福祉課						所属長	長沢 恭子							
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	02 社会福祉支援費		会計	01 一般会計		決算附属資料	116		頁
計画期間	開始年度	平成18年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市障害者計画、第7期障害福祉計画、第3期障害児福祉計画			R7現在の状況		継続中			
根拠法令等	福知山市医療型短期入所受入体制強化事業実施要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 府制度として実施 ・医療的ケア児者等は日常生活を営むために常時若しくは定期的に医療を要し、家族等の支援者にかかる負担が大きい。 ・医療的ケア児者等を受け入れるサービス事業所においても医療的ケアを行える人員の配置や人員増などの対応が求められる。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 府制度として実施 * 医療的ケア児者等に介護、看護に係るヘルパー等の派遣や障害の態様に応じた支援に対する助成が必要。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ・医療的ケア児者等及び支援者の負担軽減のため、医療型短期入所受入体制事業(介護又は看護にあたり障害に応じた対応のために必要な措置をとる)を実施する医療機関を支援することで、短期入所受入体制の拡充を図る。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 短期入所の事業所指定を受けた医療機関が、在宅の医療的ケア児者等の受入れに必要な下記のいずれかの支援を実施し、受入体制の強化等を行った事業を対象に助成を行う。(府と市で1/2ずつ負担) (1)在宅で利用者に居宅介護を提供するヘルパー等を派遣させ、家族等に代わって病室内での付き添い等を行う場合のヘルパー利用支援 (2)在宅で利用者に訪問看護を提供する訪問看護師等を派遣させ、医療機関と必要な連携を行う場合の訪問看護師連携支援 (3)障害の態様に応じた支援や個々の障害特性に対応するために要する支援									
対象者	医療型短期入所利用者					対象者数	2		単位あたりコスト	770.0
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	1,500		1,500		1,500		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		1,500		1,500		1,500		0						
予算財源内訳	① 一般財源	750		750		750		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	750		750		750		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		0										
	② 配当予算	1,500		1,500										
	③ 執行額	1,320		1,140										
	④ 執行率	88.0%		76.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.00	/	0.00	0.05	/	0.00	/						
	② 概算人件費	0		400										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,320		1,540										
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	医療的ケア児者・重症心身障害児者福祉サービス利用等促進事業			種類	民生費府補助金		570		実績金額	決算附属資料	23		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	2	2	2				
		目標値		5	2	2	2	R7年度実績		
	利用者数	達成度		%	40%	100%	100%	0%	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	1	1	1				
		助成金の交付先		当初見込	1	1	1	1	R7年度実績	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	対象となる医療機関に事業を周知し、要綱に基づき医療機関に助成を行う。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績								
		目標値								
		達成度		%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績								
		当初見込								
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること 短期入所指定を受けた医療機関の支援に対して助成を行うことで、指定事業所の運営の安定化が図れた。 医療機関の体制強化を支援することで、医療的ケア児者等及びその家族等の支援者の在宅日常生活の安定化が図れるため継続した支援が必要である。								
現状の課題 に対する 改善策	短期入所指定を受けた医療機関の支援に対して助成を継続して行う。								

1 事業属性

(単位：千円)

事業名	社会参加助成事業						事業コード	030102420376			
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造				
	施策名	3 多文化共生とユニバーサル社会の推進					施策コード	313			
事業担当	所属	150400 健康福祉部障害者福祉課				所属長	長沢 恭子				
会計情報	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 社会福祉援護費	会計	01 一般会計	決算附属資料	116	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市障害者計画、第7期障害福祉計画、第3期障害児福祉計画			R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市障害者団体等活動補助金交付要綱、福知山市障害者自動車運転免許取得教習費助成金交付要綱										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 ()										
関連事業	—										

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・障害者団体の活動の中で研修や交流会、スポーツ大会等は、障害のある人たちが積極的に社会参加するための機会であるため、活動を継続していくことは重要であるが、障害者団体を運営するためには活動費が必要。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 障害のある人が、障害者団体の活動の中で社会活動を行うための活動費に対する支援が必要。(活動費に対する補助金の交付)					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 障害者団体の自主的な社会参加活動を促進するとともに、障害のある人に対する理解を深める啓発活動や関連行事等への参加を促進する。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・障害者団体の活動費補助 ・府の主催事業や障害のある人に対する理解を深める啓発活動、関連行事等への参加支援 ・自動車による外出支援として、障害のある人の自動車改造経費、運転免許教習費を一部助成					
対象者	障害者団体、障害のある人	対象者数	4,568	単位あたりコスト	0.8	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 ()					
委託先・実施主体等	有限会社慶和、京都ユニオンサービス株式会社、身体障害者団体連合会、民間社会福祉施設連絡協議会、精神障害者家族会、障害児(者)親の会					
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	旅費	7	スポーツ大会等旅費	扶助費	1,600	身体障害者運転免許教習費・自動車改造助成
	需用費	35	スポーツ大会等バス運行燃料費			
	役務費	8	手話通訳者、要約筆記者派遣に係る損害保険料			
	委託料	230	スポーツ大会等バス運行業務委託料			
	使用料及び賃借料	32	スポーツ大会等バス運行に係る高速道路通行料、駐車料			
	負担金補助及び交付金	764	障害者団体等活動費補助金			

区 分		R5(評価前年度)	R6(評価年度)	R7(本年度)	R8(要求年度)
予算情報	① 当初予算	1,080	2,358	1,941	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
	小計(①～③)	1,080	2,358	1,941	0
予算財源内訳	① 一般財源	1,080	1,080	0	0
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	0	1,278	1,941	0
決算情報	① 流充用額	0	319		
	② 配当予算	1,080	2,677		
	③ 執行額	1,023	2,675		
	④ 執行率	94.7%	99.9%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.06 / 0.00	0.14 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	480	1,120		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,503	3,795		

主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	社会参加助成事業基金繰入(地域福祉基金)	種類	基金繰入金	実績金額	1,078	決算附属資料	36	頁
				42					

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—			
	活動資金の補助により、障害のある人の社会参加につながる。 【定性的評価】	目標値		—	—	—	—	—	
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	団体	3	3	4			
	各種団体活動補助金	当初見込		3	3	4	4	4	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	各団体からの補助申請を補助要綱に照らし適正に審査し、必要な活動費に対して支出を行う。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	活動資金の補助により、障害のある人が安定して活動を行うことができ、障害のある人の社会参加の契機となっている。	
現状の課題 に対する 改善策	今後も継続して障害のある人らの社会参加に関わる資金面での支援を行い、安定した活動につなげていく。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	社会福祉援護管理事業										事業コード	030102420379				
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち							政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造						
	施 策 名	3 多文化共生とユニバーサル社会の推進								施策コード	313					
事業担当	所属	150400 健康福祉部障害者福祉課							所属長	長沢 恭子						
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	02 社会福祉援護費		会計	01 一般会計		決算附属資料	116・117		頁
計画期間	開始年度	昭和63年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市障害者計画、第7期障害福祉計画、第3期障害児福祉計画				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	障害者総合支援法、児童福祉法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、精神保健福祉法															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☒ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 障害者福祉課の業務は、障害のある人もない人も互いに尊重し合い、共に生活していく社会の構築を目的とするものがある。それらの業務全般を円滑に実施するため、庶務的経費が必要。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 多くの業務を円滑かつ効率的に実施するためにはシステム導入は必要であり、導入後の保守も重要。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 障害のある人もない人も互いに尊重し合い、共に生活していく社会の構築を目的とする障害者福祉課の施策全般を円滑に実施することを目的とする。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 障害者福祉課の事務的経費、障害者福祉システム保守委託料 ほか									
対象者	市民				対象者数	74,704		単位あたりコスト	0.1	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	4,563		7,482		11,325		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		4,563		7,482		11,325		0						
予算財源内訳	① 一般財源	3,730		2,779		5,874		0						
	② 国支出金	0		3,872		4,620		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	833		831		831		0						
決算情報	① 流充用額	1,241		2,229										
	② 配当予算	5,804		9,711										
	③ 執行額	5,666		9,711										
	④ 執行率	97.6%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.21	/	0.00	0.18	/	0.00			/				
	② 概算人件費	1,680		1,440										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		7,346		11,151										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	電柱占用料(ふくちやま作業所等)		種類	民生使用料		実績金額	6		決算附属資料	8		頁
			社会福祉援護管理事業(デジタル基盤改革支援補助金)			民生費国庫補助金			3,872			16		
			土地建物貸付収入(障害者福祉課)			財産貸付収入			823			30		
			建物総合損害保険料負担金(障害者福祉課)			雑入			2			48		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。		成果実績	—	—	—	—			
	業務が円滑に遂行される。 【定性的評価】		目標値	—	—	—	—	—		
			達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	件	3	8	6			
	障害者福祉システム等契約件数									
					当初見込	—	6	6	10	4
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	各種手帳所持者や障害のある人の制度利用を効率的、かつ正確に管理するために必要なシステムを適切に管理するとともに、制度改正に伴い必要なシステム改修を把握し、遅滞なく行う。									

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績								
		目標値								
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績								
		当初見込								
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・障害のある人もない人も互いに尊重し合い、共に生活していく社会の構築を目的とする障害者福祉課の施策全般を円滑に実施するため、必要な経費である。 ・各種手帳所持者や障害のある人の制度利用を効率的、かつ正確に管理し、円滑なサービス提供をするために、必要なシステムを適切に保守管理するとともに、制度改正に伴うシステム改修を把握し、改修業務を行っていくことが必要である。	
現状の課題 に対する 改善策	・制度改正などを注視し、遅滞なくシステム改修に対応していく。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	手話言語・情報コミュニケーション推進事業										事業コード	030102420386				
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造							
	施策名	3 多文化共生とユニバーサル社会の推進								施策コード	313					
事業担当	所属	150400 健康福祉部障害者福祉課						所属長	長沢 恭子							
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	02 社会福祉支援費		会計	01 一般会計		決算附属資料	117		頁
計画期間	開始年度	平成30年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市障害者計画、第7期障害福祉計画、第3期障害者福祉計画、第3期子育て支援及び障害のある人の多様なコミュニケーション促進条例推進計画						R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	障害者基本法、福知山市手話言語及び障害のある人の多様なコミュニケーション促進条例															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 障害者権利条約や障害者基本法において、手話が言語とされ、手話を含むコミュニケーション手段の選択と利用の機会の確保が求められる中、障害の特性や障害のある人のニーズに応じたコミュニケーション手段への理解や環境整備が十分に進んでおらず、障害のある人は、日常生活や社会生活を営む上で、不便や不安を感じている現実がある。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・障害の特性や障害のある人のニーズに応じたコミュニケーション手段への理解が市民、地域、事業所に広がることが必要。 ・コミュニケーション支援者の養成と確保が必要									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 障害のある人が障害特性に応じたコミュニケーション手段を利用しやすい環境を構築することにより、障害のある人もない人も分け隔てられることなく理解しあい、お互いに一人ひとりの尊厳を大切に安心して暮らすことができる共生社会を実現することを目的とする。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・あいサポート運動や障害についての理解啓発バンク等、障害の特性や必要な配慮について学ぶ機会の提供 ・コミュニケーション支援者養成講座の実施									
対象者	市民				対象者数	74,704		単位あたりコスト	0.1	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	1,467		1,515		1,291		0				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①～③)		1,467		1,515		1,291		0				
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	1,467		1,515		1,291		0				
決算情報	① 流充用額	0		0								
	② 配当予算	1,467		1,515								
	③ 執行額	1,056		1,019								
	④ 執行率	72.0%		67.3%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.87	/	0.00	0.77	/	0.00			/		
	② 概算人件費	6,960		6,160								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		8,016		7,179								
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	手話言語・情報コミュニケーション推進事業(きょうと地域連携交付金)		種類	民生費府補助金		実績金額	503		決算附属資料	23	頁
		手話言語・情報コミュニケーション推進事業基金繰入(地域福祉基金)			基金繰入金			516			35	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。		成果実績	回		9	13	13			
			目標値		—	—		22	22	22	
	あいサポーター研修の実施回数		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!		59%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	回	5	8	9				
	あいサポート運動の広報・展示回数		当初見込		—	—	10	10	10		
活動内容① (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 広報誌等様々なメディアを活用し、市民や地域、事業・団体等へあいサポート運動の周知を図る。 興味を引くような掲載内容を工夫する。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。		成果実績								
			目標値								
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績								
			当初見込								
活動内容② (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること ・あいサポーター研修の受講回数の増加を図るため、他課が関連する組織や市内事業所等の集まりの場に出向いたり、条例の施策推進で関係する事業所と接する際など、機会あるごとにあいサポート運動の周知に努めた。また、広報ふくちやまに障害理解に継続して取り組まれているあいサポート企業の活動の掲載も試みた。その結果、研修受講につながることもあったが、目標値には届かない受講状況である。
現状の課題 に対する 改善策	・事業所や団体等のあいサポーター研修受講につながるよう、継続して他の組織や事業所等と連携した周知を行う。研修について、内容や時間を事業所のニーズに応じたものとするよう工夫していく。 ・あいサポート運動については、オレンジのまちづくり推進事業としての位置づけも意識し、他課(社会福祉課、こども家庭部、健康医療課など)と連携して周知に取り組んでいく。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	療養介護医療費						事業コード	030102420387								
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造									
	施策名	3 多文化共生とユニバーサル社会の推進					施策コード		313							
事業担当	所属	150400 健康福祉部障害者福祉課				所属長	長沢 恭子									
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	02 社会福祉援護費		会計	01 一般会計		決算附属資料	117		頁
計画期間	開始年度	平成18年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市障害者計画、第7期障害福祉計画、第3期障害児福祉計画				R7現在の状況	継続中			
根拠法令等	障害者総合支援法															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☒ その他 (国府負担金事業)															
関連事業	－															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 常時介護が必要な障害のある人については、病院等において医療とあわせて、機能訓練、療養上の管理、看護などを行なうことが求められている。															
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 医療が必要な障害のある人で常時介護が必要な人に医療機関で機能訓練や療養上の管理、看護、介護などの支援が必要である。															
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 療養介護医療費の負担を軽減することにより、障害のある人の健康保持と福祉の増進を図る。															
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 医療が必要な障害のある人で常時介護が必要な人に医療機関で機能訓練や療養上の管理、看護、介護など日常生活上の援助を行う。 療養介護のうち医療に係る医療給付															
対象者	療養介護医療費の支給決定を受けた人						対象者数	16		単位あたりコスト	921.8					
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()															
委託先・実施主体等																
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)		主な業務内容				費目	実績(R6)		主な業務内容					
	役務費	8		事務取扱手数料												
	扶助費	14,472		療養介護医療費												

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算 情報	① 当初予算	12,509		12,509		12,809		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		12,509		12,509		12,809		0						
予算 財源 内 訳	① 一般財源	3,134		3,134		3,209		0						
	② 国支出金	6,250		6,250		6,400		0						
	③ 府支出金	3,125		3,125		3,200		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算 情報	① 流充用額	1,332		1,971										
	② 配当予算	13,841		14,480										
	③ 執行額	13,840		14,480										
	④ 執行率	100.0%		100.0%										
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員/全計年度任用職員)	0.03	/	0.01	0.03	/	0.01	/		/				
	② 概算人件費	268		268										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		14,108		14,748										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	療養介護医療費		種類	民生費国庫負担金		実績金額	6,916		決算附属資料	14		頁
			療養介護医療費			民生費府負担金			3,617			21		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	人		15	15	16				
		目標値		14	15	15	16	R7年度実績			
		実利用者数	達成度	%	107%	100%	107%	0%	#VALUE!		
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人		161	173	174				
		当初見込		155	161	173	174	R7年度実績			
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										
	医療機関において、医療と日常生活上の介護サービスの提供を受ける。										
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績									
		目標値									
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績									
		当初見込									
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること 療養介護医療費の負担を軽減することにより、障害のある人の健康保持と福祉の増進を図れた。 医療が必要な障害のある人で常時介護が必要な人に医療機関で機能訓練や療養上の管理、看護、介護などが受けられ、健康保持と福祉の増進を図る必要がある。								
現状の課題 に対する 改善策	今後も療養介護利用者の医療費の公費負担を継続していく。、								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	自立支援給付(障害福祉サービス等)事業										事業コード	030102420392				
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造							
	施 策 名	3 多文化共生とユニバーサル社会の推進								施策コード	313					
事業担当	所 属	150400 健康福祉部障害者福祉課						所属長	長沢 恭子							
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	02 社会福祉支援費		会計	01 一般会計		決算附属資料	117・118		頁
計画期間	開始年度	平成18年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市障害者計画、第7期障害福祉計画、第3期障害児福祉計画				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☒ その他 (国府負担金事業)															
関連事業	障害支援区分認定事業															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・障害者総合支援法第2条に市町村の責務として、介護給付の実施や制度の周知が定められている。 ・利用申請があった際には、相談支援事業所に依頼し、相談支援専門員が本人及び家族に聞き取りを行い、必要なサービスの調整を行っている。							
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 障害者総合支援法に基づいて実施 ※障害のある人が日常生活を営むための必要な障害福祉サービスを受けることができるよう、給付を行う必要がある。							
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 障害者及び障害児が基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスに係る給付を行い、もって障害者及び障害児の福祉の増進を図るとともに、障害の有無にかかわらず国民が相互に人格と個性を尊重し安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与すること。							
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 本人や家族に対して、障害福祉サービスについて周知し、必要な人に対して適切に障害福祉サービスにかかる給付を行う。							
対象者	障害福祉サービス受給者証発行者			対象者数	763	単位あたりコスト	2,648.4	
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (自立支援給付費等の給付)							
委託先・実施主体等								
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容		費目	実績(R6)	主な業務内容	
	需用費	90	受給者証用紙、カバー購入費					
	役務費	1,950	審査手数料、郵送料					
	扶助費	1,954,907	障害福祉サービス利用に係る給付費					

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	1,651,222		1,805,101		1,997,699		0			
	② 補正予算	155,177		173,179		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0			
小計(①～③)		1,806,399		1,978,280		1,997,699		0			
予算財源内訳	① 一般財源	453,293		496,273		501,187		0			
	② 国支出金	902,071		988,005		997,675		0			
	③ 府支出金	451,035		494,002		498,837		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	0		0		0		0			
決算情報	① 流充用額	13,734		3,557							
	② 配当予算	1,820,133		1,981,837							
	③ 執行額	1,820,086		1,956,947							
	④ 執行率	100.0%		98.7%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 全計年度任用職員)	0.59	/	0.21	0.62	/	21.00	/			
	② 概算人件費	5,308		63,760							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,825,394		2,020,707							
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	介護給付費(福祉サービス)		種類	民生費国庫負担金		1,010,620	決算附属資料	13	頁
			介護給付費(福祉サービス)			民生費府負担金		488,731		21	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—	—	
	支援の必要な対象者が必要なサービスを受けることができる。 【定性的評価】	目標値	—	—	—	—	—	—	
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	747	762	763			
	障害福祉サービス受給者証所持者数	当初見込		727	747	762	763	R7年度実績	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	新規手帳交付時など窓口での対応時に本人や家族に対して障害福祉サービスについて案内し、必要な人に対して障害福祉サービスに係る給付を行う								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	障害のある人が、必要な障害福祉サービスに係る給付を受けることで、福祉の増進を図るとともに、安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与することができる。 障害のある人が、必要な障害福祉サービスに係る給付を受け、福祉の増進と安心して地域で暮らすことができるよう障害福祉サービスの提供体制を維持する必要がある。	
現状の課題 に対する 改善策	障害のある人が、必要な障害福祉サービスに係る給付を受け、福祉の増進と安心して地域で暮らすことができるよう障害福祉サービスの提供体制を維持する。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	高齢・障害福祉施設等物価高騰対策支援事業(障害者福祉課)										事業コード	030102420395				
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造							
	施 策 名	3 多文化共生とユニバーサル社会の推進								施策コード	313					
事業担当	所属	150400 健康福祉部障害者福祉課						所属長	長沢 恭子							
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	02 社会福祉支援費		会計	01 一般会計		決算附属資料	118		頁
計画期間	開始年度	令和6年度		終了予定年度	令和6年度		関連計画名	福知山市障害者計画、第6期福知山市障害福祉計画、第2期福知山市障害児福祉計画				R7現在の状況		廃止/休止		
根拠法令等	-															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 物価高騰(食材量費の高騰)により利用者に提供する食事に係る経費も高騰している。 障害福祉サービス事業所等が利用者の負担を増を回避する形で現行の自己負担額を維持している場合は事業所の経済的負担が大きいが、一方、提供サービスの質を維持させるために自己負担額を上げると利用者の経済的負担が大きくなる。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 物価高騰の影響により障害福祉サービス事業所等が受ける経済的負担を軽減し、利用者に経済的な負担を生じさせず、必要なサービスが安定的に提供される体制を維持するため、事業所への支援が必要。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 物価高騰の影響により障害福祉サービス事業所等が受ける経済的負担を軽減し、利用者に経済的な負担を生じさせず、必要なサービスが安定的に提供される体制を維持するため、利用者に提供される食事に係る食材費の一部を支援する。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 利用者に提供される食事に係る食材費の一部を補助					
対象者	障害福祉サービス事業所		対象者数	7	単位あたりコスト	1,229.1
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	0		0		0		0			
	② 補正予算	0		11,251		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0			
小計(①～③)		0		11,251		0		0			
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0			
	② 国支出金	0		11,251		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	0		0		0		0			
決算情報	① 流充用額	0		0							
	② 配当予算	0		11,251							
	③ 執行額	0		7,724							
	④ 執行率			68.7%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 全計年度任用職員)	0.00	/	0.00	0.11	/	0.00			/	
	② 概算人件費	0		880							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		8,604							
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	高齢・障害福祉施設等物価高騰対策支援事業(障害者福祉課)(地方創生臨時交付金)			種類	民生費国庫補助金	実績金額	7,724	決算附属資料	15	頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—					
	支援が必要な事業所が制度を利用できる 【定性的評価】	目標値	—	—	—	—	—			
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	事業所	9	8	7				
	申請件数	当初見込		9	8	8	—	—		
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
活動内容① (アクティビティ)	食事提供を行っている事業所からの申請に対し物価高騰対策助成金を補助する。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績								
		目標値								
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績								
		当初見込								
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
活動内容② (アクティビティ)										

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	食事提供を行っている施設への補助により、施設等においては食事の質や量の維持による安定したサービスを提供できた。 利用者は個人負担が変わることなくサービスを受けることができた。 物価高騰に伴う施設の食費を助成することで、サービスの質を維持する必要がある。	
現状の課題 に対する 改善策	社会情勢の変動により国が実施する物価高騰対策と併せて助成制度の設計をする。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	地域生活支援事業(自発的活動支援事業)										事業コード	030102420416			
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造						
	施 策 名	3 多文化共生とユニバーサル社会の推進								施策コード	313				
事業担当	所属	150400 健康福祉部障害者福祉課						所属長	長沢 恭子						
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	02 社会福祉支援費		会計	01 一般会計		決算附属資料	118	頁
計画期間	開始年度	令和3年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市障害者計画、第7期障害福祉計画、第3期障害児福祉計画			R7現在の状況		他事業へ統合		
根拠法令等	障害者総合支援法、地域生活支援事業実施要綱、福知山市障害者等自発的活動支援事業実施要綱														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 障害者総合支援法第77条第1項第9号に規定する地域生活支援事業として実施。 当事者が相談員として相談対応。相談会も開催。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 地域生活支援事業として実施 地域でのつながりや、当事者による相談や交流が必要					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 障害者相談員が実施する相談会や交流活動を通して、障害のある人もない人も安心して暮らすことのできる地域社会づくりを目的とする。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・市内にある3つの障害者団体に事業を委託している。					
対象者	障害のある人及びその家族等で相談や交流会に参加した人		対象者数	104	単位あたりコスト	25.0
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	867		907		0		0					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		867		907		0		0					
予算財源内訳	① 一般財源	218		227		0		0					
	② 国支出金	433		454		0		0					
	③ 府支出金	216		226		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	0		0		0		0					
決算情報	① 流充用額	0		0									
	② 配当予算	867		907									
	③ 執行額	851		843									
	④ 執行率	98.2%		92.9%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員/全庁年度任用職員)	0.16	/	0.00	0.22	/	0.00			/			
	② 概算人件費	1,280		1,760									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,131		2,603									
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	地域生活支援事業		種類	民生費国庫補助金		実績金額	270		決算附属資料	15	頁
			地域生活支援事業			民生費府補助金			132			23	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。		成果実績	回		35	20	56			
	相談・交流会実施回数		目標値			36	36	36	56	R7年度実績	
			達成度		%	97%	56%	156%	0%	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	件	912	1149	1080				
	相談件数		当初見込		821	912	1149	1080	R7年度実績		
活動内容① (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
		障害者相談員が障害のある人及びその家族等からの相談に応じる									

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。		成果実績							
			目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績							
			当初見込							
活動内容② (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること	
	障害者相談員が実施する相談会や交流活動を通して、障害のある人もない人も安心して暮らすことのできる地域社会づくりができた。 障害のある人やその家族に寄り添い地域で安心して生活するために、障害や日頃の困りごとなどを相談できる機会を作る必要がある。	
現状の課題 に対する 改善策	今後も障害のある人もない人も安心して暮らすことのできる地域社会をつくるため、障害者相談員による相談活動は継続していく。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	障害者講座事業										事業コード	100501420301				
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造							
	施 策 名	3 多文化共生とユニバーサル社会の推進								施策コード	313					
事業担当	所属	600300 教育委員会生涯学習課						所属長	西村 憲二							
会計情報	款	10 教育費		項	05 社会教育費		目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	219		頁
計画期間	開始年度	昭和52年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	-															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 障害を克服しながら仕事や生活の中で、友との語らいや共に学ぶ機会が少ない状況の中、社会の一員として充実した生活が営めるよう学習機会の充実に努め、心豊かな暮らしを目指して学習活動を実施する。						
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ○青年学級：在籍者に対比して、仕事・家庭の事情等で、参加できるメンバーが固定化しつつあり、交流の機会や活性化が望まれる。 ○視覚・聴覚障害者成人講座：例年参加者が、視覚障害者協会及び聴覚障害者協会の会員に留まっており、協会会員以外の視覚及び聴覚言語に障害を持つ人の参加がまだ少ない。障害者福祉課と連携をはかり協会以外の方にも周知できるよう工夫が必要。						
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 知的障害者、視覚障害者及び聴覚障害者など、障害のある人が生涯を通して教育や文化、スポーツなどに親しみ、仲間と共にいきいきとした生活を送れるよう、自らが進んで社会参加できるような学習と交流の場を提供する。また、障害のある人が、互いに悩みや希望を語り合い、明日への活力を得るための機会とする。						
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ○文化・芸術体験学習、スポーツ体験、宿泊体験、調理体験、施設見学、他市交流など各種講座を実施。 障害者青年学級 6回/年、参加者：各回10～30人 視覚障害者成人講座 3回/年、参加者：各回20人～25人 聴覚障害者成人講座 3回/年、参加者：各回10人程度						
対象者	知的障害者、視覚障害者、聴覚障害者			対象者数	146	単位あたりコスト	21.2
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (						

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	493		329		194		0	
	② 補正予算	0		0		0		0	
	③ 繰越予算	0		0		0		0	
	前年度繰越	0		0		0		0	
	次年度繰越	0		0		0		0	
小計(①～③)		493		329		194		0	
予算財源内訳	① 一般財源	493		329		194		0	
	② 国支出金	0		0		0		0	
	③ 府支出金	0		0		0		0	
	④ 地方債	0		0		0		0	
	⑤ その他特財	0		0		0		0	
決算情報	① 流充用額	△ 151		△ 113					
	② 配当予算	342		216					
	③ 執行額	159		211					
	④ 執行率	46.5%		97.7%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 全計年度任用職員)	0.33	/	0.00	0.36	/	0.00	/	
	② 概算人件費	2,640		2,880					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,799		3,091					
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算附属資料	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。 延べ参加人数		成果実績	人		165	181	167			
		目標値		300	300	300	300	300		
		達成度		%	55%	60%	56%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。 講座開催数		活動実績	回		11	12	12			
		当初見込		12	12	12	12	12		
活動内容① (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 各参加対象者(知的障害・視覚障害・聴覚障害)に講座内容の希望を伺い、参加者の年齢層や日程、市内外で学習・体験できる内容と事業コストを考慮のうえ講座を実施している。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。 		成果実績								
		目標値								
		達成度		%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。 		活動実績								
		当初見込								
活動内容② (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること	
	○障害を持つ市民に生涯学習の場を提供するとともに、社会参加を進めるきっかけ作り、手段の一つとして大きな役割を果たしている。 ○青年学級:定期的、計画的な教室(講座)事業実施により、知的障害者の社会参加の場を提供でき、明日への意欲と希望を見出す機会となっている。また、事業を通じて仲間との交流にもなっている。在籍者に対比して、感染症や仕事・家庭の事情等で、参加できるメンバーが固定化しつつあり、交流の機会や活性化が望まれる。 ○視覚・聴覚障害者成人講座:視覚、聴覚・言語に障害がある人に対し、様々な講座を通して学習の機会を提供し、互いに希望を見つけ、明日への活力を得るための機会となっている。聴覚障害者成人講座については、手話通訳に加えて要約筆記も対応し広報した。また、視覚障害者成人講座については、希望者がいた場合は点訳資料を作成し、参加者の拡充を図っている。	
現状の課題 に対する 改善策	○青年学級:講座参加者の年齢層も幅広いため、学級生全員が参加できる内容に工夫して講座を開講する必要がある。中丹支援学校の卒業予定生に向けて青年学級の活動紹介を行う等、新たな学級生の参加にも繋げていきたい。 ○視覚・聴覚障害者成人講座:参加者が、視覚及び聴覚障害者協会の会員が主体となっており、協会会員以外の参加促進等の手法等を考える必要がある。	